

# 第 129 回実践勉強会 実施レポート

共催 大田区薬剤師会・EAファーマ

参加者 120 名

開催日時：2021 年 6 月 8 日（火）19:45～21:15 Zoom ウィブナー

## 「高齢者のフレイル・認知症とその対策

### ～老年性症候群としての便秘をふくめて～」

東京大学大学院 医学系研究科老年病学(老年病科)

准教授 小川 純人先生

【大田区薬剤師会実践勉強会】

Q&A

Q：ロコモ、サルコペニア、フレイルは世界共通語なのでしょうか？

A：共通語である。

Q：フレイルが有ると認知症が増える理由は？

A：フレイルになると活動性が低下することが理由の 1 つであるが、活動低下という身体的側面の理由だけではなく、認知機能の低下自体が認知症を増悪する理由にもなる。

対策として、体づくり（日頃からの運動習慣、ビタミン D 摂取 等）を意識することが大切である。